



# 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月3日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 雅勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務セクタ長 (氏名) 丹羽 時重 TEL (0568) 88-7111  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	7,961	△44.8	61	△96.5	94	△94.9	△22	—
22年3月期第1四半期	14,413	21.2	1,756	59.1	1,827	59.5	971	73.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△1.55	—
22年3月期第1四半期	65.69	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	43,750	26,467	60.4	1,787.13
22年3月期	49,641	27,380	55.1	1,848.74

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 26,420百万円 22年3月期 27,331百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	60.00	70.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	10.00	—	30.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	△35.5	800	△79.9	800	△80.8	300	△86.8	20.29
通期	46,000	△11.3	2,900	△37.3	3,000	△38.8	1,200	△48.9	81.17

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期1Q	14,783,900株	22年3月期	14,783,900株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	269株	22年3月期	196株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	14,783,687株	22年3月期1Q	14,783,704株
----------	-------------	----------	-------------

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期短信【添付資料】3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) セグメント情報.....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出は緩やかに増加し、企業収益は改善しつつありますが、雇用環境の改善は遅れ、物価は緩やかなデフレ状況にあるなど、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、顧客であるパチンコホールでは、1円パチンコ等の低貸玉営業が全国的に浸透し、さらに差別化をはかる動きが見られました。一方、パチスロ遊技機は、安定した業績がホール経営企業から注目され、パチンコからパチスロへシフトする動きが出始めました。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、低貸玉営業における差別化の動きに対して、ファンの利便性向上を追及した台毎計数システム「楽pass」を提案し、パチスロ活性化に対して、コンテンツ表示を一層充実させた情報公開機器「BiGMO」などの店舗における活用提案を推進いたしました。

制御システム事業におきましては、物作りの改革を目指して開発業務の品質向上と効率を追求し、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高79億61百万円（前年同期比44.8%減）、営業利益61百万円（同96.5%減）、経常利益94百万円（同94.9%減）、四半期純損失22百万円（同9億94百万円減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (情報システム事業)

当事業の第1四半期連結会計期間は、MIRAI GATEネットワークを活用したホール支援サービスの「CⅡデスク」「メンテナンスデスク」を中心にホールコンピューティングシステム「CⅡ」の導入を提案するとともに、来店人数を把握しホール経営に活用するファン動向分析システムをリリースしましたが、新規出店等の大型の設備投資は引き続き低調でした。

この結果、売上高は51億46百万円（前年同期比18.8%減）、営業利益は6億83百万円（同47.8%減）となりました。

## (制御システム事業)

当事業の第1四半期連結会計期間は、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めましたが、開発機種の新規販売はありませんでした。

この結果、売上高は23億74百万円（前年同期比69.5%減）、営業損失は2億12百万円（同12億16百万円減）となりました。

## (アミューズメントコンテンツ事業)

当事業の第1四半期連結会計期間は、コンシューマゲームにおいて、昨年、海外メーカーから受注したゲームソフトが、高い評価を受けたことにより、開発受注が増えました。

この結果、当事業の売上高は4億42百万円（前年同期比50.4%増）、営業利益は47百万円（同83百万円増）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、納税、配当の支払い等があったことにより、前連結会計年度末に比べ58億91百万円減少の437億50百万円となりました。

流動資産では、主に現金及び預金や売上債権が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ68億62百万円減少の277億19百万円となりました。

固定資産では、主に設備投資により前連結会計年度末に比べ9億71百万円増加の160億30百万円となりました。

負債では、主に仕入債務や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ49億77百万円減少の172億83百万円となりました。

純資産では、主に利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ9億13百万円減少の264億67百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べ5.3ポイント上昇の60.4%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成22年5月10日発表の業績予想に変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成22年6月30日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## ・会計処理基準に関する事項の変更

## 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は1,918千円、税金等調整前四半期純利益は31,533千円、それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、90,063千円であります。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,086,101	18,926,618
受取手形及び売掛金	6,328,111	9,738,583
商品及び製品	3,166,633	3,320,901
仕掛品	616,560	509,642
原材料及び貯蔵品	1,797,078	1,516,614
繰延税金資産	104,652	248,915
その他	656,409	365,820
貸倒引当金	△35,672	△44,476
流動資産合計	27,719,874	34,582,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,988,051	2,956,016
土地	4,390,713	4,390,713
その他(純額)	1,936,913	1,253,874
有形固定資産合計	9,315,678	8,600,604
無形固定資産		
ソフトウェア	1,451,617	1,448,278
その他	38,829	39,177
無形固定資産合計	1,490,447	1,487,455
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,640,932	1,488,728
投資不動産(純額)	901,694	904,932
長期預金	900,000	900,000
その他	1,997,226	1,890,976
貸倒引当金	△215,542	△213,962
投資その他の資産合計	5,224,311	4,970,674
固定資産合計	16,030,438	15,058,734
資産合計	43,750,312	49,641,354

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,403,493	11,449,846
短期借入金	4,625,000	4,625,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	94,896	1,838,347
役員賞与引当金	11,167	238,223
資産除去債務	14,000	—
その他	2,391,671	2,363,877
流動負債合計	15,940,228	20,915,294
固定負債		
長期借入金	700,000	800,000
退職給付引当金	87,684	69,908
役員退職慰労引当金	299,338	291,051
資産除去債務	76,063	—
その他	179,937	184,289
固定負債合計	1,343,023	1,345,248
負債合計	17,283,252	22,260,543
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	25,063,157	25,973,100
自己株式	△585	△491
株主資本合計	26,416,579	27,326,617
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,715	4,621
評価・換算差額等合計	3,715	4,621
少数株主持分	46,764	49,571
純資産合計	26,467,060	27,380,811
負債純資産合計	43,750,312	49,641,354

(2) 四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	14,413,032	7,961,019
売上原価	9,887,660	5,226,031
売上総利益	4,525,371	2,734,987
延払販売未実現利益控除	—	—
延払販売未実現利益戻入	3,788	3,788
差引売上総利益	4,529,159	2,738,776
販売費及び一般管理費	2,772,515	2,677,159
営業利益	1,756,644	61,616
営業外収益		
受取利息	4,495	6,075
受取配当金	5,376	5,446
受取ロイヤリティー	21,087	16,071
不動産賃貸料	25,880	20,507
持分法による投資利益	741	—
その他	50,388	11,876
営業外収益合計	107,970	59,976
営業外費用		
支払利息	17,899	12,269
持分法による投資損失	—	3,667
その他	18,992	11,640
営業外費用合計	36,891	27,577
経常利益	1,827,722	94,016
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,024	5,389
その他	—	1,219
特別利益合計	9,024	6,608
特別損失		
固定資産売却損	2,476	—
固定資産除却損	6,048	12,634
貸倒引当金繰入額	16,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	29,615
その他	2,000	—
特別損失合計	26,525	42,249
税金等調整前四半期純利益	1,810,221	58,375
法人税、住民税及び事業税	783,629	92,121
法人税等調整額	51,302	△8,018
法人税等合計	834,931	84,102
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△25,727
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,185	△2,806
四半期純利益又は四半期純損失(△)	971,104	△22,921



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	情報システム事業 (千円)	制御システム事業 (千円)	アミューズメント コンテンツ事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	6,332,134	7,787,543	293,353	14,413,032	—	14,413,032
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,672	—	761	3,434	(3,434)	—
計	6,334,806	7,787,543	294,115	14,416,466	(3,434)	14,413,032
営業利益又は 営業損失(△)	1,309,378	1,004,117	△35,713	2,277,782	(521,138)	1,756,644

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 情報システム事業

ホールコンピュータ、景品顧客管理システム、情報公開システム、工事収入等

(2) 制御システム事業

表示ユニット、制御ユニット、遊技機に使用される部品等

(3) アミューズメントコンテンツ事業

アミューズメント関連ソフト等

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、事業内容別のセグメントから構成されており、「情報システム事業」、「制御システム事業」及び「アミューズメントコンテンツ事業」の3つを報告セグメントとしております。

「情報システム事業」は、主にパチンコホール向けコンピュータシステム、景品顧客管理システム、情報公開システムの開発・製造・販売をしております。「制御システム事業」は、パチンコ遊技機用表示ユニット、制御ユニットの開発・製造・販売、パチスロ遊技機の企画・開発・製造・販売並びに遊技機に使用する部品の販売をしております。「アミューズメントコンテンツ事業」は、アミューズメントソフト及びアミューズメントコンテンツの企画・開発・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	アミューズメント コンテンツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,144,912	2,373,881	442,225	7,961,019	—	7,961,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,482	361	—	1,844	△1,844	—
計	5,146,395	2,374,243	442,225	7,962,863	△1,844	7,961,019
セグメント利益又は セグメント損失(△)	683,690	△212,860	47,879	518,709	△457,092	_61,616

(注) 1 セグメント利益の調整額△457,092千円には、セグメント間取引消去167千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△457,260千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。